

全国3位！スペシャルトランポリンで活躍

第12回全国スペシャルトランポリン交流大会が熊本県立総合体育館で開催され、美里クラブ所属の星野矢龍さん（高1・水越）が知的障がい部門10種目Aクラス中高生の部で全国3位の成績を残しました。星野さんがトランポリンを始めたのは小学1年生のとき。トランポリンを跳ぶことでバランスをとり、足に感覚刺激を与え、脳に良い刺激になることを知ったのがきっかけ。競技では、10種類の技を披露します。その中で体を横向きに回りながら跳ぶ“ローラー”という難しい技も鮮やかにきめます。星野さんは「(今後は) 技の難易度も上げていき、次は1位を獲りたい」と次大会へ意気込みました。



メダルと賞状を披露する星野矢龍さん（中央）



株式会社大福物流から御船小学校の児童に贈呈

大福物流から横断旗贈呈

5月13日、株式会社大福物流（藤田章代表取締役社長）が地元への社会貢献を目的に町へ横断旗を贈呈しました。贈呈された本数は150本で、町内小学校6校に配付されました。藤田社長は「子どもたちが安心して横断できるツールとして使ってもらえれば」と話しました。その後、町内の学校を代表して御船小学校で贈呈式が行われ、代表で受け取った松本悠里さん（6年）は「(横断旗を) 有効に活用して、交通事故に遭わないように気をつけたい」と話しました。

荒瀬区が一つに～荒瀬区設立総会

5月18日、嘱託区再編事業に伴い、滝川の上荒瀬区・下荒瀬区が設立総会で承認を受け、新たに荒瀬区（宮崎信輔区長）が誕生しました。当区を再編するために、昨年の6月から、「荒瀬区のこれから」を見据えた区民のあり方について協議を重ねました。今回の再編は、嘱託区だけでなく、行政区も併せて再編。設立総会で区長に承認された宮崎さんは「区が一つになったことで、より一層地域で支え合い、仲良くしていけたら」と笑顔で話しました。



荒瀬区設立総会での議事進行



警察官に教わりながら、一緒に横断する園児たち

みどりの里で交通安全教室

認定保育園みどりの里（北森光代園長・139人）で5月22日、交通安全教室が行われ、園児たちが参加しました。この教室は、御船警察署（川辺信一署長）と交通安全指導員の協力で行われたもので、園児たちは室内で、DVD鑑賞で交通ルールを学んだり、「わたりジョーズ君」という装置でスクリーンに映った道路や車で模擬体験をしたり、園庭では警察官と指導員から正しい道路横断の方法を学んだりしました。教室の最後に園児たちは「交通ルールを守って、命を守ります」と元気いっぱいに宣言していました。



1,2_親子の部で楽しく滑る参加者たち 3_清村養豚場の豚肉無料配布
4,5_吉無田高原でバーベキュー 6_風を切るように草スキー

吉無田高原草スキー大会・初開催！豚肉祭り

5月3日、吉無田高原「緑の村」で、草スキー大会が開催され、町内外から訪れた多くの家族連れでにぎわいました。晴天の中行われた大会は、小学生の部・親子の部の2部門で行われ、参加者は吉無田高原の緑の芝生の斜面を笑顔で駆け抜けていきました。親子の部で優勝した宮本千尋さん・ミアさんは「前大会は準優勝でした。今年はリベンジできてよかったです」と笑顔で話し、上位3位までには、御船町特産品などが大会商品として手渡されました。大会後は、吉無田かあちゃんの会から手作りのだご汁が振る舞われ、参加者はおいしそうに食べていました。

同日には、豚肉祭りも行われ、清村養豚場（七滝）の豚肉が無料で振る舞われました。草スキー場の後方に特設バーベキューセットが用意され、セルフサービスで肉を焼きました。参加者たちは、豚肉のさまざまな部位を選び、大自然の中で育ったこだわりの肉の味を堪能しました。



木倉少年野球団創部10年目で初優勝

5月3・4日、2019年度熊本県スポーツ少年団軟式野球大会上益城郡予選が山都町町営グラウンドで行われ、木倉少年野球団（柏木孝博監督・24人）が創部10年目にして初めての優勝を勝ち取りました。

結果は、次のとおりです。

試合結果	vs 相手チーム	得点
1回戦	広安西野球クラブ	11対9 ※延長タイブレーク
2回戦	御船城山少年野球クラブ	8対0
準決勝	嘉島西少年野球クラブ	6対3
決勝	白旗少年野球クラブ	4対3



優勝した木倉少年野球団のメンバーたち
6月15・16日には、郡代表として県大会に出場します

“通学路を明るく” 防犯灯寄附に感謝状

役場応接室で5月17日、(株)ライトアップ（乃村嘉一代表取締役）へ感謝状が贈呈されました。これは、防犯灯の寄付に対し町が贈呈したもので、防犯灯は、平成音楽大学付近の学生通りを中心に、今城バス停までの広い範囲に15基が整備されました。乃村さんは「(通学路が) 少し暗くて心配だった。学生や子どもたちが通る通学路が少しでも明るくなれば」と話しました。感謝状を贈呈した藤木正幸町長は「とてもありがたい。これからは防犯力が必要になる。この灯りで子どもたちの安全を守っていききたい」と話しました。



感謝状を贈呈された乃村嘉一代表取締役（右）